

## 第4回 安田町庁舎建設検討委員会 会議録

日時 平成29年2月22日（水）午前10時00分から  
場所 安田町地域ふれあいセンター 多目的ホール  
議題 1. 庁舎建設先進地（栲原町）視察報告について  
2. 町民アンケートの中間集計について  
3. 町庁舎建設基本計画（案）  
4. その他

### 【配布資料】

- ・ 安田町新庁舎建設基本計画（案）
- ・ 町庁舎建設に係る先進地視察研修（栲原町総合庁舎）報告書
- ・ 安田町新庁舎建設に関する町民アンケート（中間集計）

出席委員：赤池慎吾、佐藤昭二、清岡 哲、横田信次、伊吹衢章、武内住恵夫、  
有岡智佐、山本 真、橋本雅史、小松憲次、太田賢三、清岡ゆう子  
（12人）

欠席委員：南 一寛、小松寛之

出席アドバイザー：甲斐芳郎、中岡誠二

役場出席者：黒岩町長、南副町長、西岡総務課長、中川総務課長補佐 外

### ◎ 議題の進行

冒頭、町長から郵便局、農協への入居の要望状況とその感触等について報告。

委員長から前回までの振り返り（建設地の確認）と、委員会として栲原町役場に先進地視察訪問を行った旨（委員長は欠席）を報告。

議題1：庁舎建設先進地（栲原町）視察報告について

総務課長補佐から栲原町役場への先進地視察経過等について報告。

### 【参加者の感想等】

佐藤副委員長

- ・ 栲原町は国道整備に付随してまちづくり計画が進められた経過があったが、本町でも道路整備がこの検討委員会と同時進行すべき課題と感じた。
- ・ 印象に残ったのは、機能面、配置等の課題が後から分かったという点と、まち全体のコンセプトだと思うが、エコデザインをベースにした、環境に配慮した設計になっている点。

山本委員

- ・ 総合庁舎ということで、高い関心を持って参加した。
- ・ 賃貸料の話も聞いてきたが、規模に応じた額であったとの印象。

- 木を使った親しみや温かさが感じられた。
- 事務室が手狭に見えたので、デザイン重視ではなく、利便性が大切。
- JAとして、今後どれくらいのスペースが必要か等の検討、提案をしたい。

#### 有岡委員

- 20年ぶりくらいに行って、町並みが変わっていたことに驚いた。
- 職員の話では、住民の来庁機会が増え、意識も変わってきたように感じること。
- 安田町も庁舎を核として、道路整備やまちづくりがされていけば良い。

以上

#### 赤池委員長

- 梶原は、庁舎だけではなく、これまでの過程の中で、まちに対する愛着とか、まち自体を考えるきっかけになったのではと感じる。

#### 甲斐アドバイザー

- デザイン性に関しては、最終的に建物の使い方そのものになるので、安田町としての仕事のやり方や物事の進め方を設計者にちゃんと伝えることが大切。
- 土地や予算などの制約条件がある中で、皆さんの話し合いで取舍選択をしながら落としどころを作っていく。

#### 赤池委員長

- 現在、職員や利用者は今の役場のどこが使いやすく、どこが使いにくいかわかりやすく使っているのでは。
- 具体的な部分は検討委員会の次の段階で話し合うことになると思うが、住民と一番接している職員が感じる住民の使い勝手の良さや悪さを把握して、設計者に伝えられるようにしておきたい。  
⇒ 副町長：梶原町では、産経課や福祉関係、教育委員会の建物が別にある。産経課はかつて今の総合庁舎内にあったが、手狭ということで別の建物に移ったと聞いている。そうした部分も含めて、設計者に安田町のコンセプトを伝えるようにしたい。

#### 甲斐アドバイザー

- 仕様書の方に、目的のために職員の意見を聞く機会を作って、その結果をまとめることを入れるのが良い。市民とのワークショップの機会も。

#### 赤池委員長

- 他自治体の庁舎を見て、自分たちが考える庁舎とのコンセプトの違い等が出てきたと思う。
- この委員会では、基本計画案について実際に安田町としてどういったコンセプトで行くのか確認いただく。

- ・ 職員や住民の考えを仕様書としてまとめる場を別に設けるのは少し難しいと思うので、職員が普段仕事する中で、利用者に声を聞くなどして、まとめてもらいたい。

## 議題2：町民アンケートの中間集計について

総務課長補佐から町民アンケートの中間集計内容について説明。

### 山本委員

- ・ 農協が役場に入る必要がないというアンケート結果になるか心配していたが、農協、郵便局ともに新庁舎に入るとするのは、住民も願っているところではないかと思う。防災拠点として強い関心があることも分かったので考えていきたい。

### 赤池委員長

- ・ 防災や暮らしの機能、JAや郵便局など日常的に関わりのあるところが入ってくるのが、住民ニーズとして浮かび上がったという印象を受けている。

### 伊吹委員

- ・ 庁舎にコンビニをという意見も結構あるようだが。

### 赤池委員長

- ・ 現在の役場は自動販売機しかない。住民の希望としては分かるが、この委員会では難しい。

### 中岡アドバイザー

- ・ 役場を避難場所にとか、備蓄をして欲しいという意見が多く、一時的に大きな建物に逃げるとするのは非常に大事だとは思いますが、避難所になると、災害対応が十分できなくなるので、さび分けをしたうえで、住民には十分周知をしておいた方が良いでしょう。

### 赤池委員長

- ・ 住民からすると、防災については非常に庁舎に期待しているところで、避難所としての認識が強いかも知れないが、町の防災計画と併せて、そこは切り分けて考えるように理解している。住民が防災機能の強化イコール避難所として使うという誤解があるならば、正しく説明していかなければいけない。

### 清岡ゆう子委員

- ・ 視察先の栲原町でも視覚障がい者や身体の障がい者への対応はしているが、聴覚障がい者の方は、耳が聞こえないために本当に情報が入らない。視覚障がいの方が耳から情報が入るので、生活には情報源が豊富で困らない。新庁舎には、聴覚障がい者のために手話表記の絵柄を描いて設置してもらいたい。

赤池委員長

- 計画の中のコンセプトには入ってくると思う。

太田委員

- アンケート結果からは避難場所としての機能を重要視しているように思う。
- 視察した栲原町の庁舎は大きい、広いという印象を受けた。事業費としては約 11 億円であるという説明であったが、安田町は 15 億円を投資する計画になっている。
- 最小の経費で最大の効果を上げるよう、大きな面積をもった中で、住民が多様化して使えるような設備、施設整備を望みたい。
- 事業財源については、栲原町は多額の基金をもっていたようだが、本町では地方交付税が少ない中で、そこまでの備えもないので、15 億円を用いて建設するのであれば、不要のない、隅から隅まで住民に喜ばれるような建て方をしてもらいたい。

議題 3：町庁舎建設基本計画（案）について

委員長からこれまでの経緯を説明した後、総務課長補佐から基本計画案の内容について説明。

赤池委員長

- 教育委員会が入ってきたり、地域創生課が新設されることも含めて、JA や郵便局などが入るというところをご確認いただく。
- 事務局への質問として、防災に対するニーズが非常に高いが、新庁舎には防災センターを併設する形で防災機能を持たせるというのが基本構想の考え方ということで良いか。  
⇒ 総務課長補佐：防災センターは、庁舎そのものではなく、屋根続きなどで庁舎から直接入っていけるような形で整備できればと考えている。

清岡哲委員

- 今回の提案は、「安田町新庁舎建設基本計画」となっている。この検討委員会では、計画ではなくて構想を作るものだと考えていたが、今回は基本構想ではなくて基本計画を作ることになるのか。計画と構想はニュアンスも違うと思うが。  
⇒ 町長：タイトルは計画となっているが、中身は構想になっている。委員としては構想とした方が自分たちの意見を伝えやすいと思うので、構想として進めてもらいたい。

赤池委員長

- この委員会では、基本構想を取りまとめているということで、ご確認いただきたい。

#### 甲斐アドバイザー

- 基本理念の中に「活気のある協働のまち」が出てきていないのが不思議。アンケートでは活性化に対する期待が込められているのに、それに対する記述がないのは、アンケートを取った意味がないのでは。自由意見ではみんなが集えて活気のあるところになりたいという希望がたくさんあるのに、基本構想の中に出てこないのは残念。
- 防災拠点の機能についても、安全・安心でというのは町民のことだと思うが、細目の書き方は建物に寄り過ぎているので、もう少し素直に、皆さんの希望が文字になっていけば良いかと思う。

#### 赤池委員長

- 私から甲斐アドバイザーにお尋ねしたいが、構想として、産直であれば既に輝るぼーとがあったり、防災であれば、応急期機能配置計画という、そういう全体の話の中で、庁舎の話は切り分けなくていいということか。

#### 甲斐アドバイザー

- 栲原町の庁舎は、全体の街づくりの中に計画がある。それぞれの施設の位置づけがあって、その中の庁舎部分として、ある意味一部の機能しか入っていないが、それは全体があるから。
- 今回総合庁舎といっているが、隣の神社や、輝るぼーとや駅があって、この一帯はこういう性格を持ったものという前提条件がはっきりしていない。
- まちのポテンシャルを活かしていくのか、行かないのか、輝るぼーとは地元の人のためなのか、潜在的な観光客のものなのか、今度造る庁舎は町民が集う場所なのか、何の場所なのかなど、その位置づけを含めて考える必要がある。

#### 赤池委員長

- この役場の基本構想と、まち全体の理念、目的をリンクさせながら、庁舎の位置づけを考えていくということか。

#### 甲斐アドバイザー

- 今回窓口のワンストップを考えているが、機能に関するワンストップもあり得る。でも住民にとって不要ならばやめれば良いし、そこを切り分けるかは議論するしかない。  
⇒ 町長：私の構想としては、庁舎があり、中山地区の活性があり、商店街の活性という計画をもっていて、今回は、安田町の一番の上位構想の中から庁舎部分を新たに抜き出してやっているところである。

#### 甲斐アドバイザー

- 例えば商店街があったとして、その突きあたりに庁舎があるのであれば、商店街が活性化するためには、例えば庁舎に向かう人が商店街にお金を落とすようにすれば良いし、構想として持っているものを具体的にしていくことが必要。

#### 赤池委員長

- ・ 現在の構想の中身は、視察によって箱モノが頭にイメージされる中で、物をイメージし過ぎているのではと反省しているところである。
- ・ アンケートでは、町にどうなって欲しいとかという住民の思いが乗ってきているので、役場の位置づけをどこにするのか、もっと判断しなければいけないと感じている。
- ・ 既存の他施設がある中で、役場が防災や行政サービスの提供だけでいいのか、ほかの部分はどこでどうやるのかを全体の中で理解する必要がある。

#### 山本委員

- ・ この委員会では、物だけでも良いのでは。私たちは行政全般のことではなくて、イメージとしての物だけとの判断で、基本的にはそこに多くのエネルギーをかければ良いと思う。

#### 赤池委員長

- ・ この委員会では、まず場所を決めたというところは大きい。第5回で議論いただくのは、住民の意見をいただいた中で、箱モノというよりも、役場の中にいろいろな機能が入ることで、どういう庁舎になるのかというところを整理する方が良いと思う。具体的な部分は、基本構想の次の作業になると理解している。
  - ⇒ 町長：安田町のまちづくりは、まちづくり協働委員会という組織があってその中で将来を描いていっているので、今回の庁舎構想は、これをまとめることでまちづくり協働委員会に提案することもできるし、庁舎を造る基本としてやっていく。そういったまちづくりも含めた中で作ることで、より充実したものになるし、後戻りすることもない。

#### 甲斐アドバイザー

- ・ 結局、設計図を描くのは設計会社なので、ここでやるべきなのは、私たちが思っていることをきちんと描いてもらうために、彼らに言わなければいけないことは何かを決めること。

#### 太田委員

- ・ 設計者は設計者なりの仕事をしてくれるだろうが、あくまでも住民が親しみやすい、来やすい、利用しやすい、安田型の庁舎を建設しなければいけない。

#### 赤池委員長

- ・ 親しみやすい庁舎、安心であって、使いやすいというのは一つの前提ではあるが、そうするとあまり特徴のない構想になるかも知れないが、JAや暮らしの中の拠点としては、随分違ったものになると思う。
- ・ 事務局として、もう少し整理しなければいけない部分があるかと思うが、今後のスケジュールとこれからどう基本構想をまとめていくのか。
  - ⇒ 総務課長補佐：最終回に向け、これまでに指摘を受けた部分を上手く判り

やすく修正していく。具体的に書く部分と、その逆も出てくるとは思う。

上位計画や個別計画との整合性を一つ一つ取るのは難しいかも知れないが、冒頭にそうした内容も書いておくことも必要と考えている。

#### 甲斐アドバイザー

- アンケートの自由意見一つ一つに対して、これは別施設、これはここで実現できるものではない、これは採用できないなど、全部に星を付けるのも良い。  
⇒ 町長：そうした中身をやっていくには（第5回を3月15日に開催するのは）時間がない。下旬くらいに時間をずらして、確実に整理したものを持って行ってはどうか。  
⇒ 総務課長補佐：3月下旬頃に再度日程調整させていただく。

#### 赤池委員長

- 安田町に期待する部分がアンケートから見えてくる中で、住民の意見が十分に反映されていないところだと思うので、まちとしてどこをどう担っていくのか、もう一度整理して、3月末の委員会で皆さんに確認いただきたいと思う。

#### 議題4：その他について

総務課長補佐から次回の開催を3月下旬とし、基本計画の最終案について議論をいただく旨を説明。

委員長による会議総括後、終了